


仏生山地区における 「みんなの病院を核とした まちづくり」について

高松市都市整備局都市計画課
住宅・まちづくり推進室



本市概要と「仏生山地区」の位置

日本一小さな都道府県
「香川県」の県庁所在地

人口 約41万人

地理的な特徴

- 離島・臨海部（瀬戸内海）から山間部（讃岐山脈）まで市域に含み、多様な自然環境がある
- 内陸部まで平地が広がり、自転車でどこまでも行ける
- 中心市街地が海に面し、鉄道駅・バスターミナル・港が近接
- 年間を通じて温暖な気候で、過ごしやすい
- 自然災害が少ない



The scenery of
TAKAMATSU



女木島

男木島

大島

屋島



仏生山地区概要

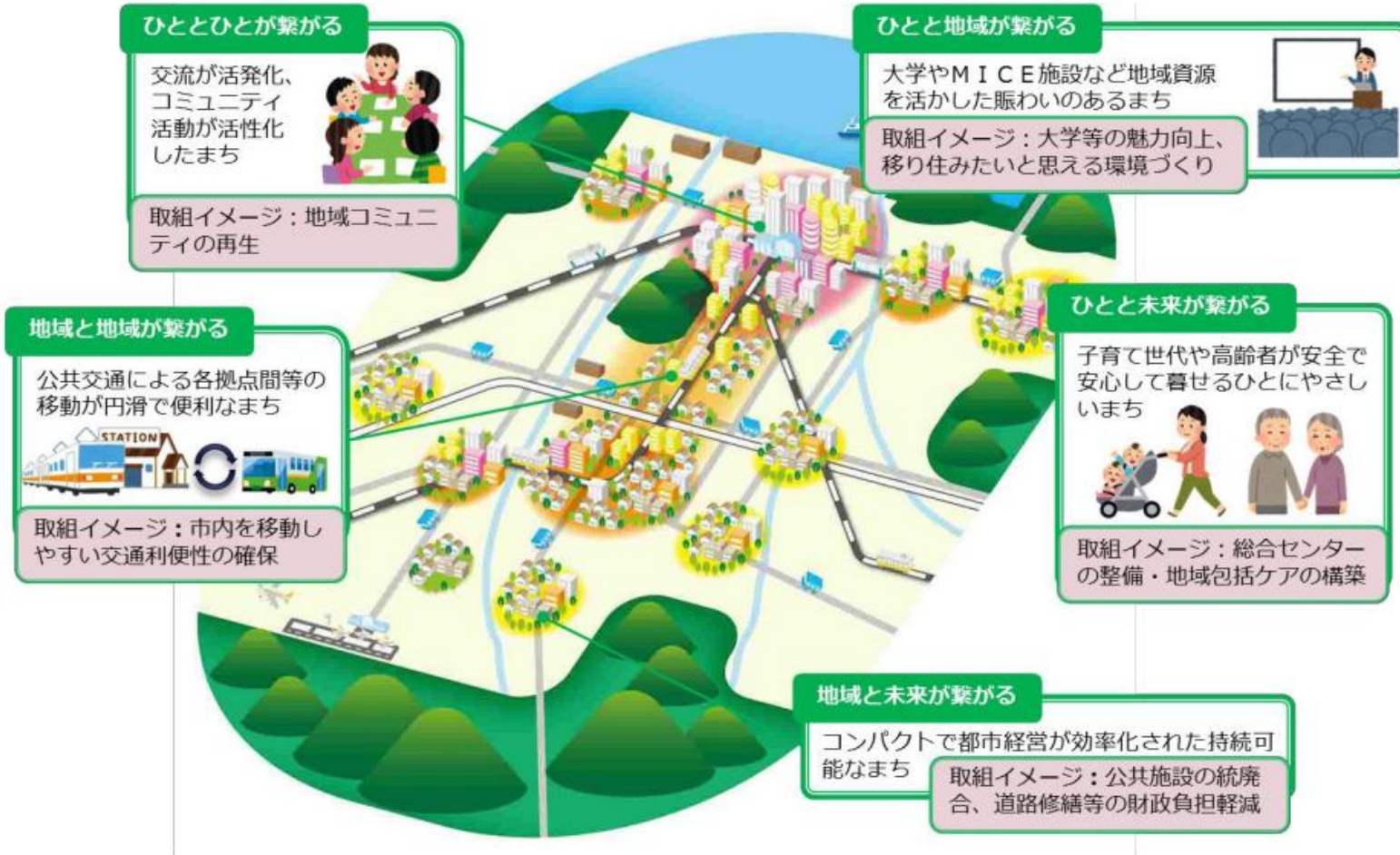
江戸時代から高松藩主の菩提寺である法然寺を中心に門前町として栄えたまちであり、町屋などの歴史的な地域資源を活用するため、「**仏生山歴史街道景観形成重点地区**」を指定し、初代高松藩主である松平公の大名行列を再現したイベントも開催

私鉄の駅があり、中心部へのアクセスも良く（朝の通勤時は7分半間隔で運行）、四国最大の生徒数となる龍雲中学校区内で若者も多く、業態変更や既存建築物をリノベし、新旧が混ざり合った商店や、モダンな佇まいの温泉も立地



まちづくりの理念

「コンパクト・プラス・ネットワークで繋がるひと地域未来」



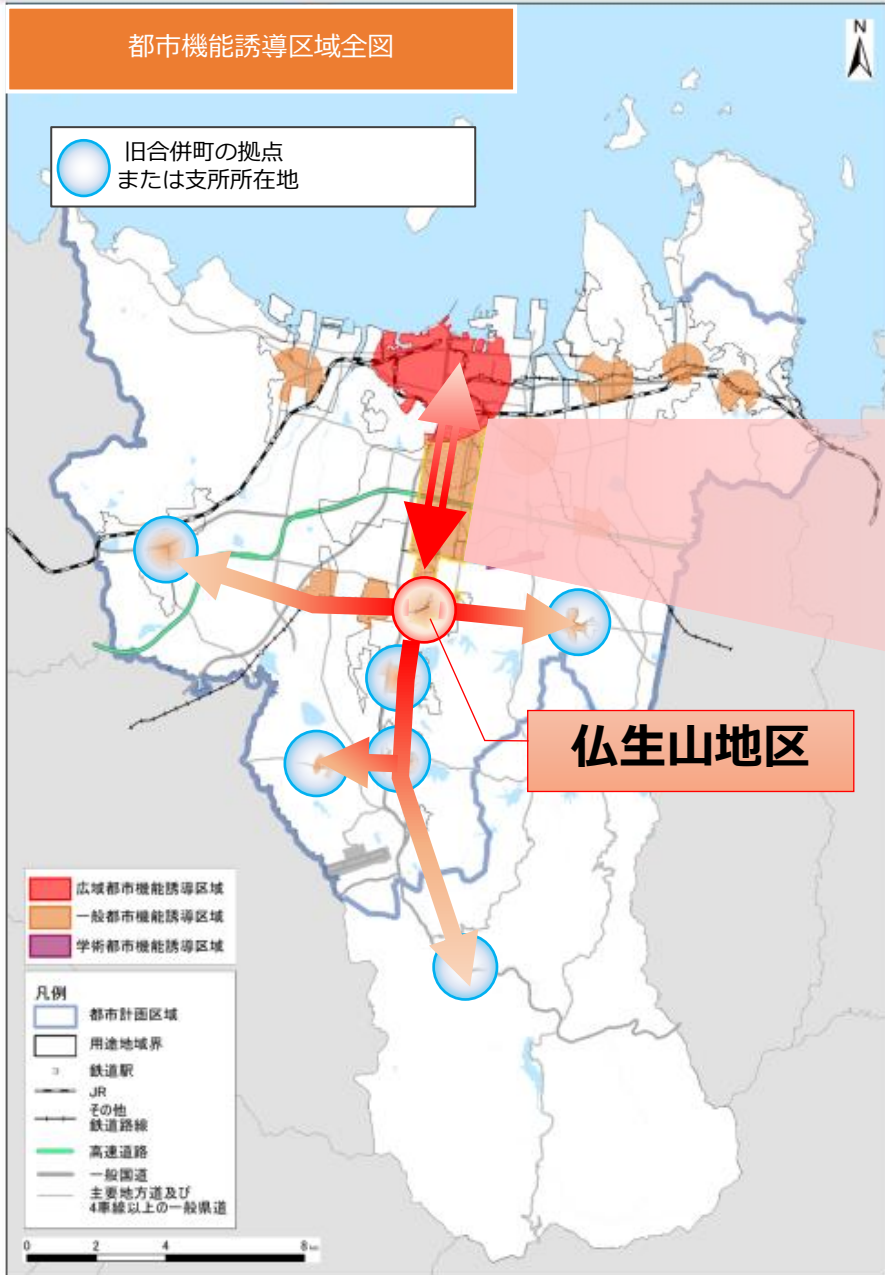
○目指すべき都市の骨格構造 多核連携型コンパクト・エコシティ

→集約拠点として、

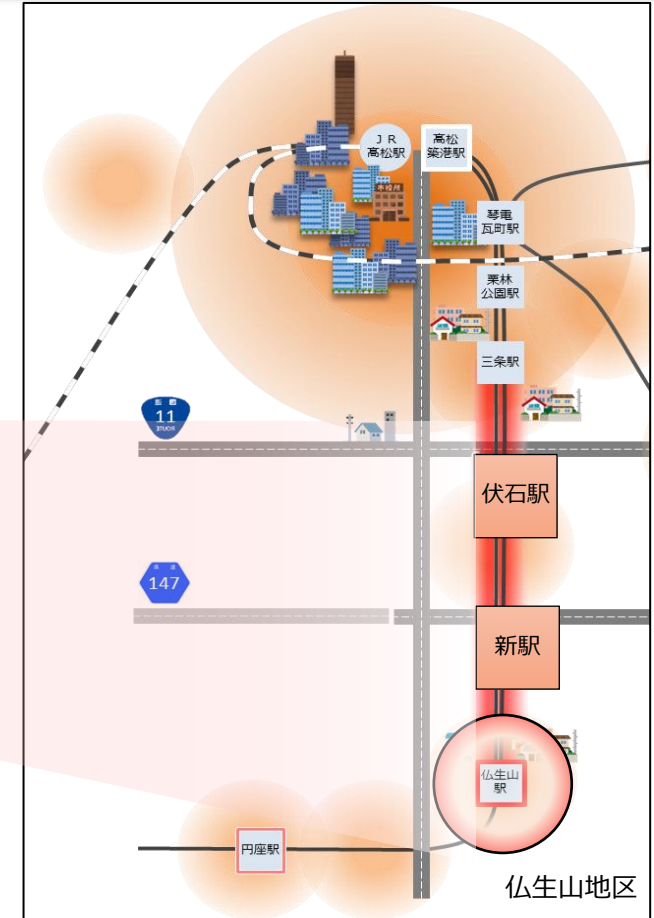
- ・広域交流拠点 : 1 箇所
- ・地域・生活交流地点 : 16 箇所
- ・学術研究拠点 : 1 箇所

を設定するとともに、公共交通軸によるネットワークを形成すること（いわゆるコンパクト・プラス・ネットワーク）で市域全体の連携と交流を促進する。

立地適正化計画における「仏生山地区」の位置付け



中央連携軸



- 中央連携軸の南端
本市の公共交通軸の基幹的役割と駅周辺のまちづくりを兼ね備えた中央連携軸の南部の核
- 南部の拠点
南側の旧合併町（香川町、香南町、塩江町）はもとより、東西の拠点からの交通結節点

仏生山地区の整備にかかるこれまでの経過

H21.8 香川県と本市が共同で「香川県農業試験場跡地を活用したまちづくり検討委員会」を設置

H21.12 上記委員会が跡地全体（北側・中央・南側の3エリア）の利活用の方向性について報告書を取りまとめ

H23.6 県市で農業試験場跡地中央エリア売買契約締結

H24.7 県市で農業試験場跡地北側エリア売買契約締結（一部土地は個人からH24.10に購入）

H25.3 本市が香川県農業試験場跡地北側エリア整備基本計画を策定

H28.3 本市が香川県農業試験場跡地北側エリア整備基本計画に係るデザインガイドラインを策定

H30.9 みんなの病院開院、ことடன்仏生山駅西口駅前広場・P&R駐車場供用開始

R4.3 交流センター“ふらっと仏生山”オープン



香川県農業試験場跡地北側エリア整備 基本計画

平成 25 年 3 月

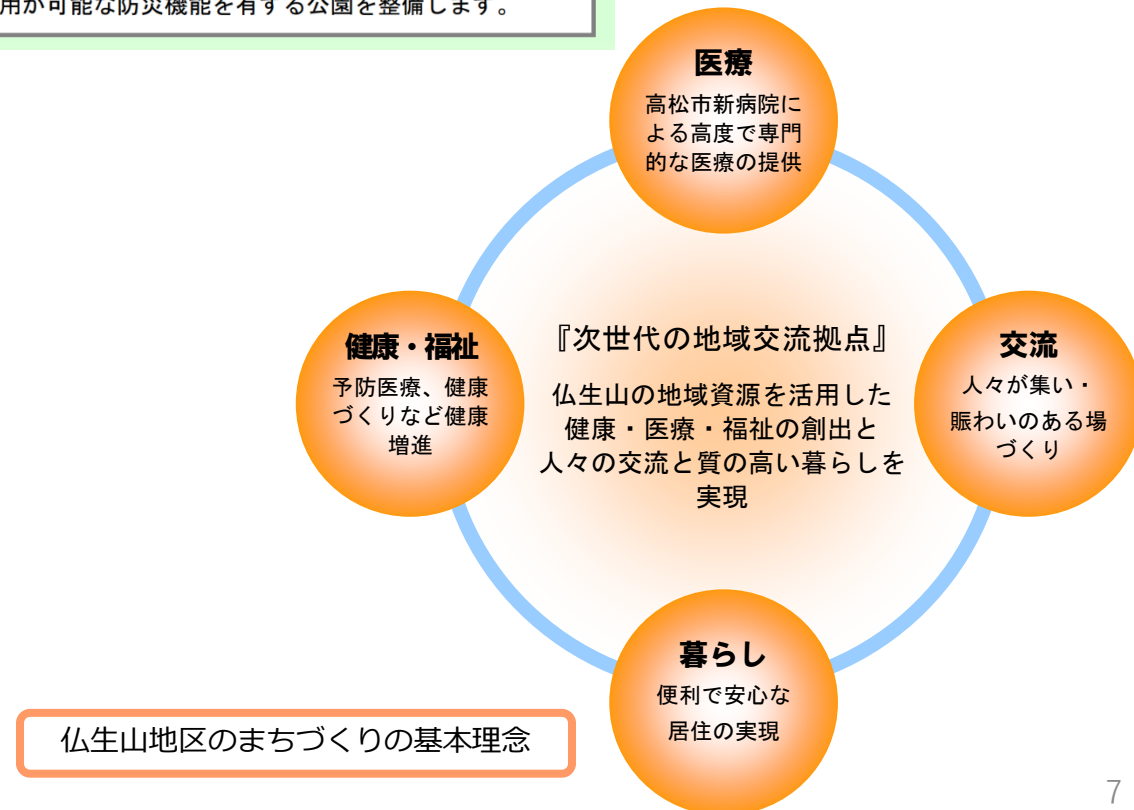
高 松 市

コンセプト

『人が集い 文化にふれあうエリア』

《整備方針》

- にぎわいの創出を目指すとともに、交流機能等を有し、歴史・文化にふれあう地域交流センターを整備します。
- 立地条件を生かし、保育所、地域子育て支援センターなど子育て支援施設を整備します。
- 高齢者や子育て世代など多世代が暮らせる住宅または高齢者施設を整備します。
- 地域交流センターとの一体的な活用が可能な防災機能を有する公園を整備します。



香川県農業試験場跡地北側エリア整備基本計画に係るデザインガイドライン

香川県農業試験場跡地北側エリア整備基本計画に係るデザインガイドライン

平成28年3月
高松市



【デザインコンセプト】

仏生山の歴史・文化を活かし、地域住民の憩いの場となり、
来訪者との交流の場となる賑わいの空間

○歴史・文化の活用

- ・ 仏生山の町並みをモチーフとした形状・色調
- ・ 当該地の歴史や地域性に配慮した整備

○地域住民の憩いの場

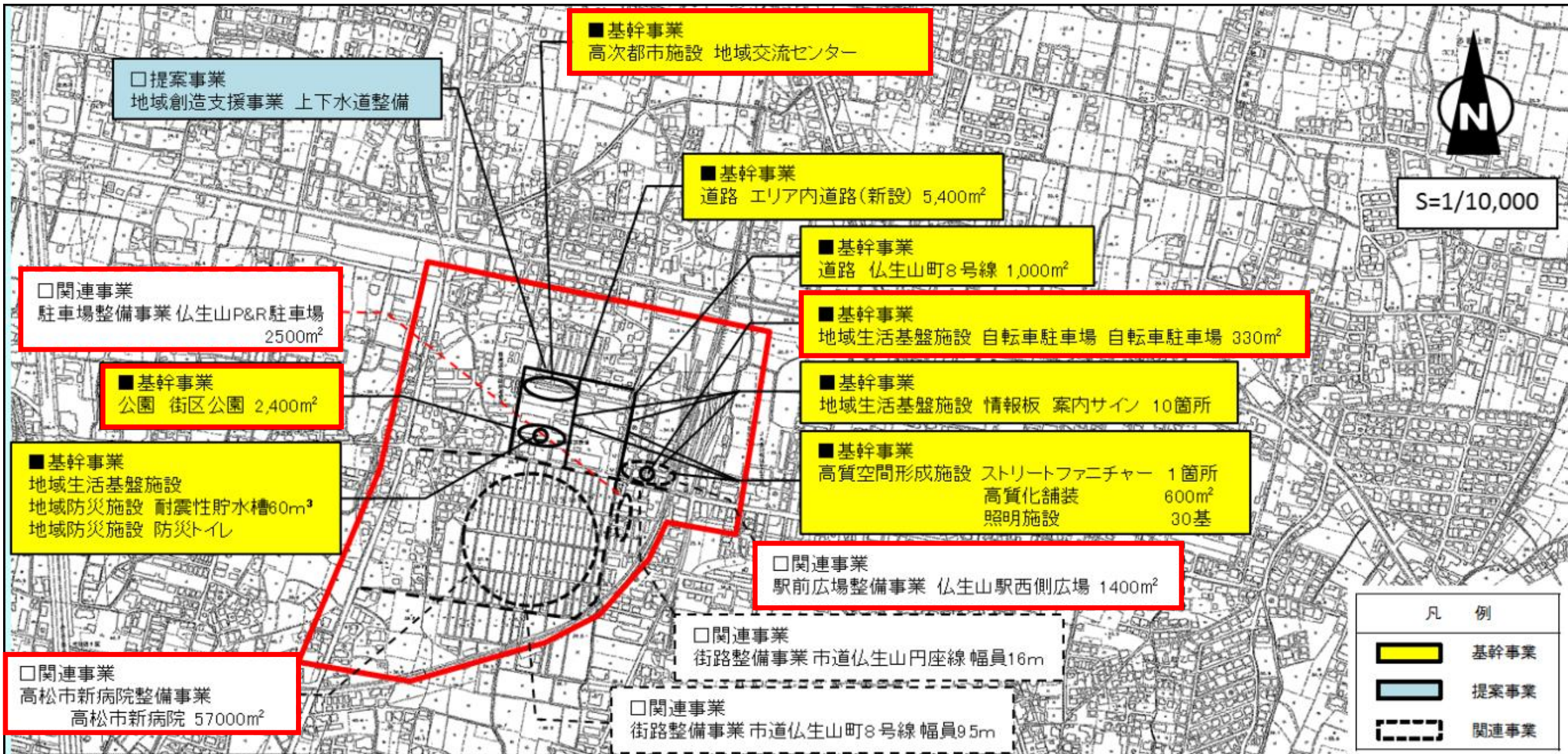
- ・ 世代を問わず交流できる空間の創出
- ・ 歩行者優先の一体的な空間の創出

○交流・賑わいの場

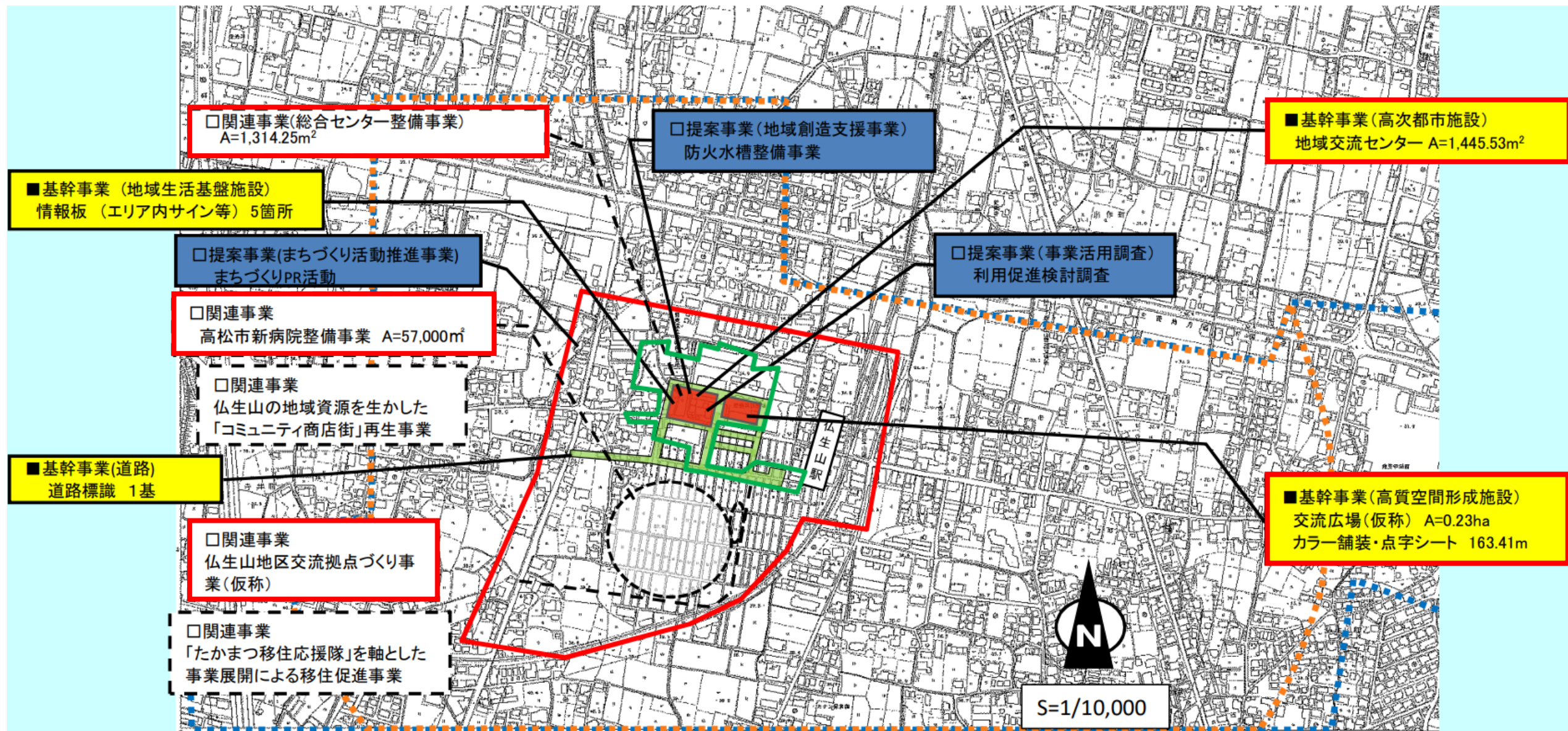
- ・ イベントに活用できる広場の設置
- ・ 仏生山地区全体の回遊性の向上



都市再生整備計画事業（仏生山地区）（第1期：平成24年度～平成28年度）



都市再生整備計画事業（仏生山地区）（第2期：平成30年度～令和3年度）

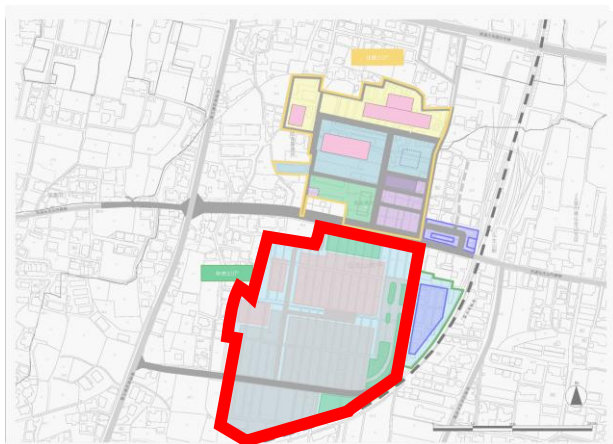


「みんなの病院を核としたまちづくり」における地域交流拠点の概要①



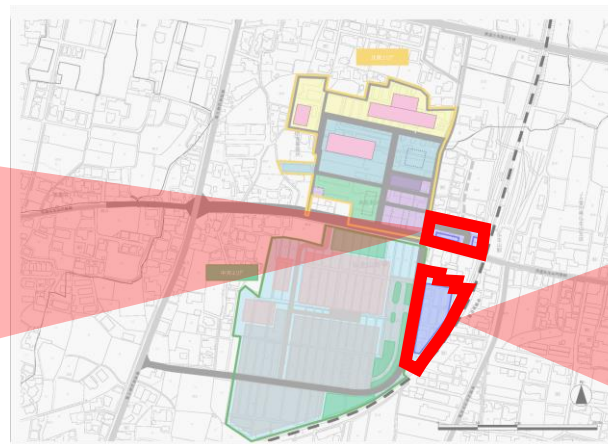
高松市立みんなの病院

- 開院 : 平成30年9月
- 診療科目 : 25科 (標榜科)
- 施設の概要 : 敷地面積 約54,100m²
延床面積 約29,160m²
鉄筋コンクリート造
鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨)
地上6階建、免震構造
- 駐車場 : 第1駐車場 (306台)、第2駐車場 (112台)
- 病床数 : 305床 { 一般病床 : 299床 (うち地域包括ケア病棟43床)
感染症病床 : 6床



医療：高松市新病院による高度で専門的な医療の提供

「みんなの病院を核としたまちづくり」における地域交流拠点の概要②



ことでん仏生山駅 西口駅前広場

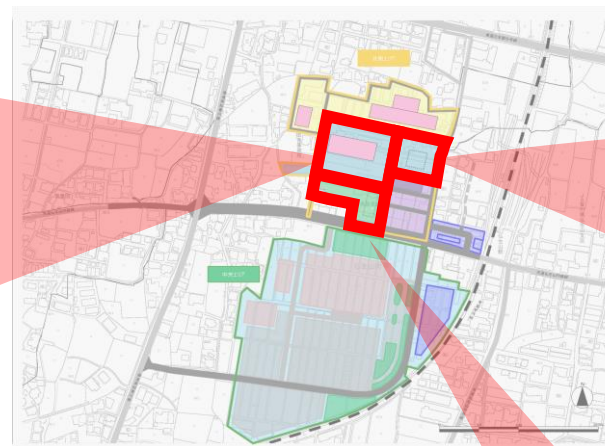
- 供用開始：平成30年9月
- 駐輪場：197台

パークアンドライド駐車場

- 供用開始：平成30年9月
- 駐車台数：116台
(思いやり駐車場3台)

交流：人々が集い・賑わいのある場づくり

「みんなの病院を核としたまちづくり」における地域交流拠点の概要③



都市機能誘導施設【合築】

○開設：令和4年3月

・総合センター

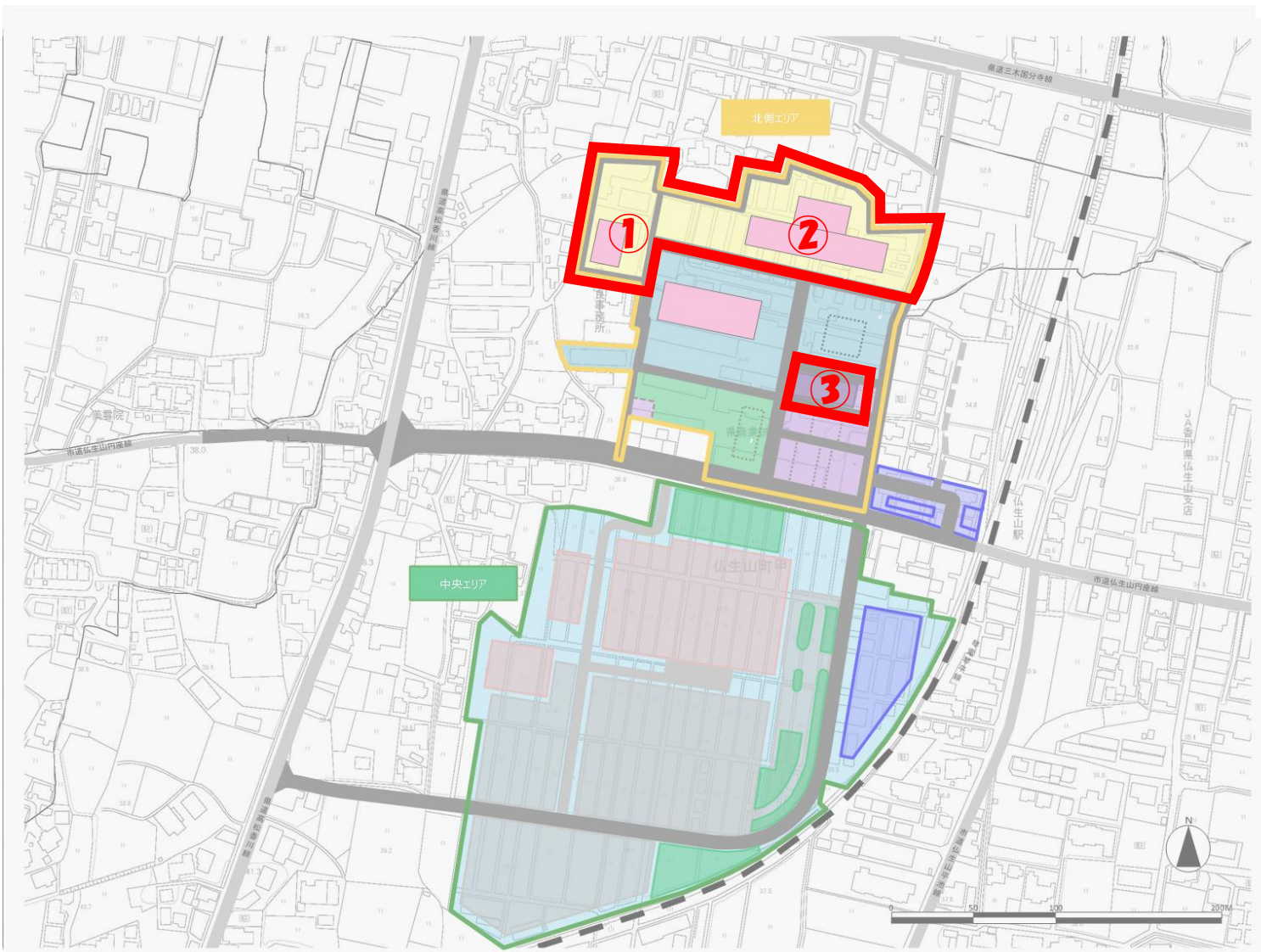
より身近な場所での行政サービス

・保健センター・地域包括支援センター

子どもから高齢者まで一体的・専門的な福祉サービス

健康・福祉：予防医療、健康づくりなど健康増進

「みんなの病院を核としたまちづくり」における地域交流拠点のこれから



○未利用地の状況

①子育て支援施設等候補	2,905㎡
②介護老人福祉施設等候補	6,476㎡
③代替地	538㎡
※①周辺の市道用地	505㎡
計	9,919㎡

政策課でサウンディング調査を実施

持続的な居住・経済活動などを支える地域交流拠点として、当初の用途指定（子育て支援、介護老人福祉施設等）に限らず、一定規模以上の商業・医療・産業環境や行政サービス機能の確保を図る、幅広い土地利用の可能性について調査

これからも仏生山地区のまちづくりの基本理念である

『次世代の地域交流拠点』

仏生山の地域資源を活用した健康・医療・福祉の創出と人々の交流と
質の高い暮らしを実現

を目指します。

ご清聴
ありがとうございました

